

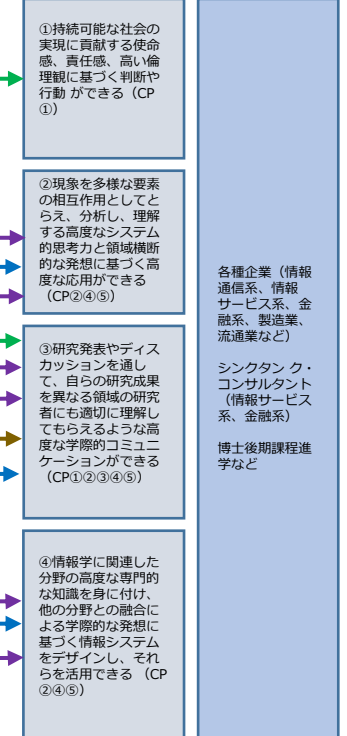
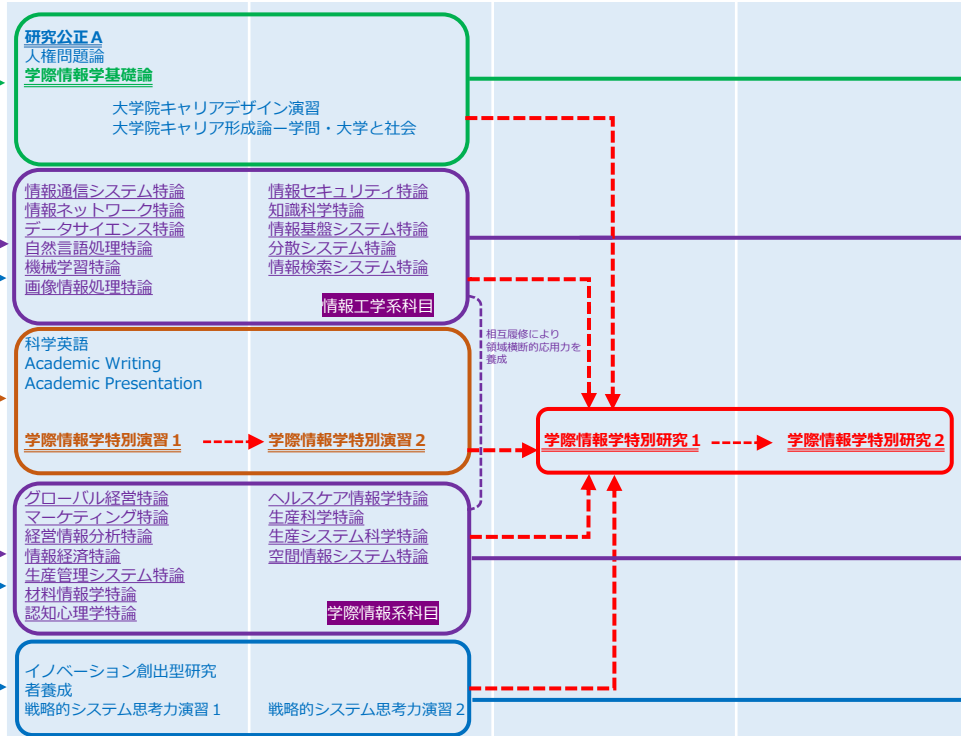
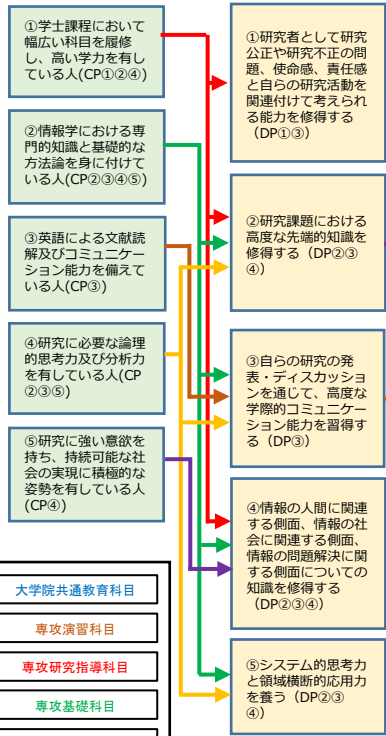
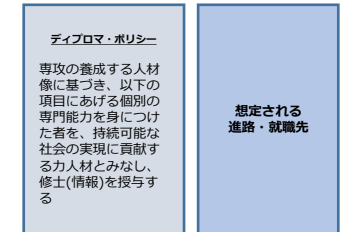
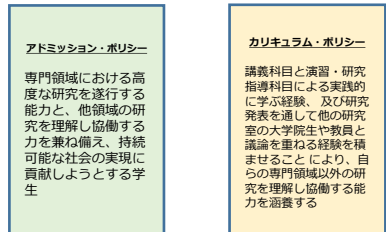
情報学研究科 学際情報学専攻 博士前期課程 カリキュラム・マップ

【設置の趣旨・必要性】

- 大都市大阪からの要請に答えるべく、情報学に関連した技術研究開発と人材養成を、「社会貢献」、「都市シンクタンク」や「技術インキュベーション」の中で実現できるような研究者・技術者が要請されている。
- 高度専門人材やグローバル人材など企業の付加価値創造をリードする人材の養成が求められている。
- 情報通信技術の進歩及び社会の変容にともなう課題を継続して解決するための科学的な分析力・思考力を持つ人材の育成が急務となっている。

【養成する人材像】

- 高度情報化社会の基礎となる情報に関連する専門分野の知識と技能を修得した人材
- 知識科学及び情報システム工学と社会科学などの他分野との融合による新たな価値を創造するためのシステムデザイン能力、技術の進歩及び社会の変容に対応できる科学的な分析力・思考力を身に付けた人材
- 技術的な側面のみならず、人々や社会の日常活動に不可欠な情報システムを実現するために、情報通信技術がもたらす社会への影響を深く理解し、専門職業人として高い倫理観と使命感、責任感を持つ人材



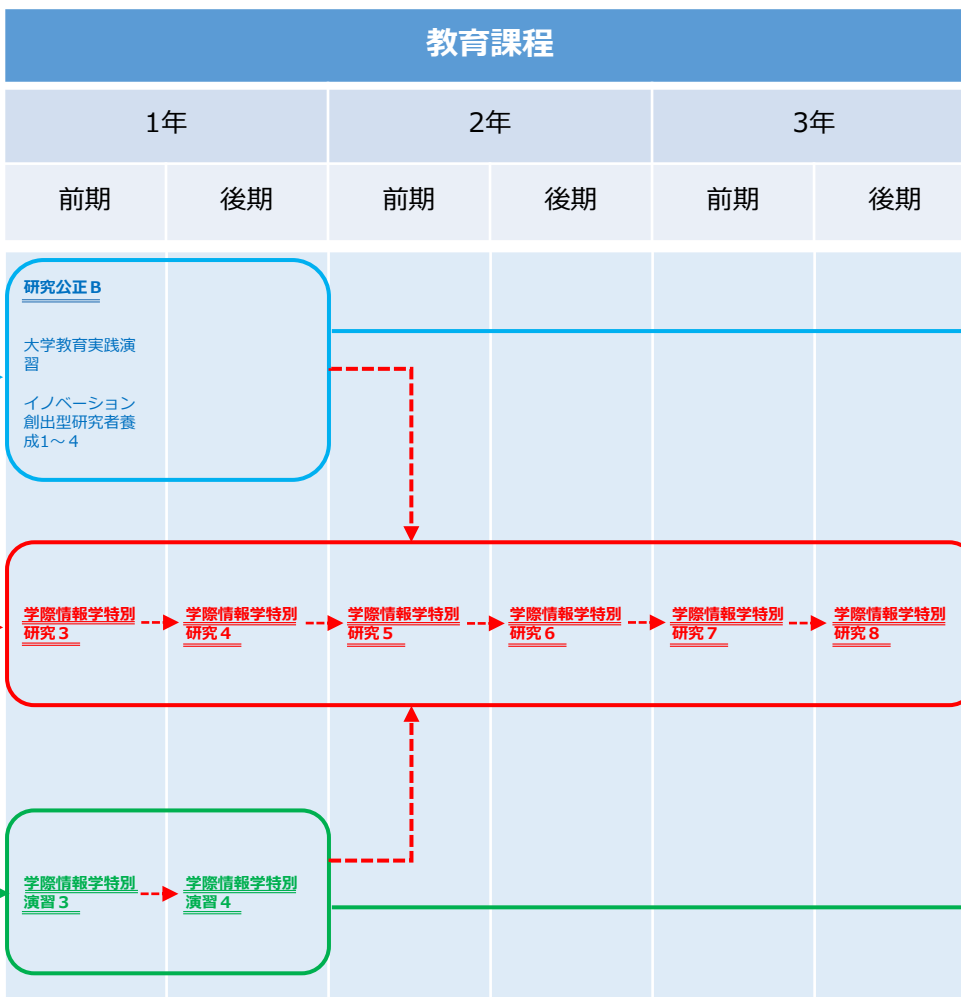
情報学研究科 学際情報学専攻 博士後期課程 カリキュラム・マップ

【設置の趣旨・必要性】

- 大都市大阪からの要請に答えるべく、情報学に関連した技術研究開発と人材養成を、「社会貢献」、「都市シンクタンク」や「技術インキュベーション」の中で実現できるような研究者・技術者が要請されている。
- 高度専門人材やグローバル人材など企業の付加価値創造をリードする人材の養成が求められている。
- 情報通信技術の進歩及び社会の変容にともなう課題を継続して解決するための科学的な分析力・思考力を持つ人材の育成が急務となっている。

【養成する人材像】

- 自らの専門領域である情報学における研究・開発をより深化、発展させることができる人材
- 領域を横断し、隣接諸領域との学問的交流を促進できる人材
- 従来の枠組みにとらわれない発想にもとづく研究開発を推進し、持続可能な社会の実現に貢献できる人材
- 他領域の研究者と協働する力を備え、現代社会への俯瞰的視点に基づく学術研究を通じた高い洞察力を持つ人材
- 現代社会が抱える諸問題を解決するための新たな情報システムや情報サービスを展開、マネジメントし、専門知識や理論の形成を自立的に行える能力を持つ人材



アドミッション・ポリシー

「広い意味での情報学」の最先端の知見について熱意をもって学修し、それをもとに今後の情報学の発展に寄与する学術の創生や技術開発の研究に熱意をもつ学生

カリキュラム・ポリシー

専攻の養成する人材像に基づき、自立した研究者として活躍できる創造的研究開発能力とともに高度な指導能力を養成するため、指導教員が学生の研究目的にあわせ、個別に履修指導を行う

ディプロマ・ポリシー

専攻の養成する人材像に基づき、以下の項目にあげる個別の専門能力を身につけた者を、持続可能な社会の実現に貢献する人材とみなし、博士(情報)を授与する

想定される
進路・就職先

①大学及び大学院博士前期課程において幅広い科目を履修し、高い基礎学力及び情報学に関する豊かな知識を身に付けている人(CP①②③)

①研究者として研究公正や研究不正の問題と自らの研究活動に関連付けて考えられること、研究不正に関して基礎的な知識を身に付け、具体的な事例について自分で判断できる力と社会への使命感、研究者としての責任感を身に付ける(DP①②③④)

①自らの研究の遂行及び成果の発表と、それを通じた社会貢献について、使命感、責任感、高い倫理観に基づいて判断することができる(CP①②③)

②情報学における専門的知識と基礎的な方法論を身に付けている人(CP②③)

②情報学の専門分野に関するより高度かつ最新の研究動向に基づいた専門な先端的知識能力を獲得させる。また理論・実験等の研究指導のもと博士論文を作成し、自立した研究者となるために必要の高い洞察力と他の研究者と協働する力を養い、研究立案能力を培う(DP①②③④)

②自らの専門領域における先端的知識と、それにもとづき、課題に対して専門性の高い洞察を行うことができる(CP①②③)

③英語による文献読解及びコミュニケーション能力を備えている人(CP②③)

③学生の研究課題及び周辺分野の最新の研究動向に関する調査、討論、実験等を通じて、特定分野の深い専門知識と周辺分野の幅広い知識を修得させるとともに、問題の分析・総合・評価能力及びシステムデザイン・マネジメント能力を培う(DP①②③④)

③専門領域において高度な研究を立案し遂行する際に他領域の研究者と協働することができる(CP①②③)

④研究に必要な論理的思考力及び分析力を有している人(CP②)

⑤研究に強い意欲を持ち、持続可能な社会の実現に積極的な姿勢を有している人(CP③)

④研究成果を応用し、新たな情報システムや情報サービスを設計できるシステムデザイン能力と、それらの情報システムや情報サービスを活用することで、現代社会が抱える諸問題を解決するためのシステムマネジメントができる(CP①②③)

大学教員
各種企業(情報通信系、情報サービス系、金融系、製造業、流通業など)

研究職、シンクタンク・コンサルタンク(情報サービス系、金融系)

公的研究機関研究職、各種教育機関専門職など

大学院共通教育科目
専攻演習科目
専攻研究指導科目
大学・二重線:必修科目
一重線:選択科目
下線なし:自由科目